報告書

2025年12月1日

屋　号	洋菓子工房れじゅーる	氏　名	[redacted]
題　名	西条高等学校商業科カフェ班との輝安鉱スイーツ開発・販売事業		
期　間	2025年6月10日～2025年11月7日		

概　要

本報告書は、西条高等学校商業科生徒たちの、西条の誇るべき輝安鉱の魅力を広く伝えたいという思いに共感し、生徒たちと共同で輝安鉱をイメージしたお菓子を企画・製造・販売した活動の内容と成果をまとめたものである

内　容

2025.6.10　西条高校にてヒアリングを行った
・商品開発指導
・ミーティング
輝安鉱スイーツの考案において生徒たちとの意見交換を行った。その中で、「輝安鉱の本来の色は黒であるが、お菓子の色は青色をイメージして作りたい」との提案があり、他の色も含めて試作をしていくこととなった



2025.6.13　食材サンプルを取り寄せ、品質など確認した

2025.6.20　最初の案のクランブル・麦チョコ・岩石飴の試作

（生徒たちが持ち寄ったイメージ）





2025.6.25　琥珀糖の試作
生徒および教員と連絡調整を経て、フレーバーをマスカット・サクラの2種類に決定

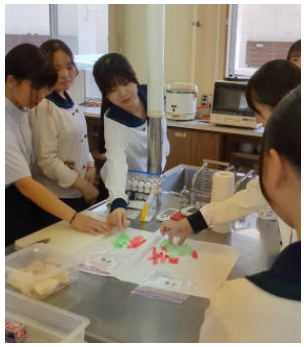
（最初の試作）



2025.7.4　実習訪問し、生徒たちとの意見交換を実施

・事前に試作したシュクル・ロッシェ・マスカットとサクラの琥珀糖を持参し意見を聞く
　生徒からは、リアルな鉱石を表現したい、映えを意識したものを作りたい、また、クランブルを活用し土台にしたい、など幅広い意見が寄せられた
・琥珀糖は常温保存と冷凍保存したものを試食し、風味や食感の比較を行った










2025.7.15　生徒と連携して試作を進めた

2025.9.　広報さいじょう2025年10月号に掲載(3ページ)



市之川公民館・鉱山資料室
長きにわたるご利用ありがとうございました

昭和39年に現在地へ移転した市之川公民館と、昭和58年に設置された鉱山資料室は長きにわたり、地域の学びや交流の場として、また鉱山の歴史を伝える拠点として、皆さまにご利用いただいてきました。

しかし、施設の老朽化に伴い、鉱山資料室の展示は令和7年9月30日(火)をもって終了し、市之川公民館も令和7年度末をもって閉館することとなりました。長きにわたるご愛顧に、心より感謝申し上げます。

鉱山資料室に収められた貴重な資料については、より多くの方にご覧いただけるよう、市街地に近い考古歴史館に移設し、令和8年4月からリニューアル公開を予定しています。新たな環境で、多くの皆さまに親しんでいただける展示を目指してまいります。

▶問合せ　市庁舎新館4階　社会教育課　℡0897－52－1628

開催日 11月3日(月・学術講演日)

見て・触れて・学べるイベント
市之川鉱山の日

市之川でかつて採掘されてきた鉱石「輝安鉱」をご存じでしょうか。その魅力を広く発信するイベント「市之川鉱山の日」を、西条高校商業科の活動グループ「輝安KOU房」が企画しました。

今回は「民藝さんぽ」や「YEGフェス」と同時開催し、まちなかに一層のにぎわいを広げます。

▶日時　11月3日(月)　10時～15時
▶場所　西條藩陣屋跡エリアなど
▶内容　・輝安KOU房の活動展示
・ボールペン作り
・オリジナル商品の販売
・石割体験　など
▶問合せ　西条高校（渡辺）
℡0897－56－2030

輝安鉱とは……
市之川鉱山で産出し、「世界の巨晶」「世界一」と称された鉱物です。現在アンチモンとも呼ばれ、明治時代にはパリ万博などに出品され、現在も世界中の博物館に展示されています。

高校生と地元企業（銘プラスコ・洋菓子工房 れじゅーる）がコラボした新作品も新登場！

▲「れじゅーる」とコラボしたスイーツ　▲ボールペン作りのワークショップ

市之川の宝を、次の世代へ

今月の表紙を飾った「輝安KOU房」は、西条高校商業科の生徒が主体となって活動するグループ。輝安鉱の魅力を掘り起こし、商品開発やワークショップを通じて地域の活性化を目指しています。今回のイベントをはじめ、「市之川鉱山の未来を考える会」などの地域団体と連携しながら、地域の歴史や資源を次世代へとつなぐ取り組みを進めています。

03　広報さいじょう　2025. 10

2025.9.25　食品対応シリコンを使用し、琥珀糖の形状を型取りして試作を行った





2025.9.26　実習訪問し、生徒たちとの意見交換を実施、デザインを決定
・フレーバーと色味について
　マスカットは赤・青の食紅を加えてイメージに近づける調整を行い、サクラは変更せずそのまま使用
・形は琥珀糖を冷やし固めたものを鉱石の形状に切り出し成形することとなった
・パッケージについては様々な意見があり結論は出ず、意見交換を継続する

2025.9.27　生徒からの意見を参考に試作を実施



2025.9.30 実習訪問(商品最終決定)
・商品の完成形が決定
・パッケージについてはお菓子が壊れることなく提供できる点を重視し、当方から複数の包材を提案、その中から選定・決定した。
・パッケージ発注

2025.10.18 商品名決定
・生徒の考案により商品名を「姫愛Rin(きありん)」に確定

2025.10.18 商品用仕込み



2025.10.21
10.24 生徒が来店し、菓子製作を実施









2025.10.31 完成品をケースにパッケージ、納品





2025.11.3 YEGフェス

・生徒が製作したポップを使用し、陳列もわかりやすく商品の魅力を伝えられた

・生徒たちの元気な呼びかけに来場者も足を止め、販売ブースも活気にあふれていた















2025.11.7	文化祭でPR

課題・問題点

西条高校商業科の生徒さんに声をかけていただき、輝安鉱の魅力を伝える活動に参加できたことは、とても貴重な経験でした。生徒たちの自由なアイデアと、安心・安全なスイーツとして形にするための現実的な条件との間には大きなギャップがありましたが、できる限り思いや意見を取り入れて主体的に進めてもらえるように心がけました。その結果、商品決定までに時間を費やし、限られた期間の中では思うように進まず苦労もありました。

また、商品を1つ仕上げるには、作業に慣れてきても15分ほどの時間が必要でした。そのため人件費(時給1,000円として250円)に加え、材料費や包材費(110円)、さらに光熱費もかかり、利益を出せる価格設定にするのは難しい状況でした。

今回、市之川未来基金助成プログラムのおかげで商品化を実現でき、生徒たちにとって大きな学びの機会となりました。喜びだけでなく、実際に取り組む中での大変さも経験することで、達成感とともに成長を感じられる貴重な活動になったと思います。当店にとっても意義深い活動になりました。

今後の活動・対策

今後の活動としては、機会やイベントなどのタイミングで販売につなげられればと考えています。その際には、商業ベースで利益を確保できるよう、価格設定の在り方について検討していきたいと思います。